



独立行政法人国立病院機構霞ヶ浦医療センターと 東京医科大学茨城医療センターとの連携協定の締結について

背景・目的

独立行政法人国立病院機構霞ヶ浦医療センターと東京医科大学茨城医療センターはともに茨城県南地域（土浦・稲敷地域）における中核的な医療機関に数えられ、地域医療を支える役割を担っている。

地域医療を取り巻く環境は、少子高齢化の進行、医療ニーズの高度化・多様化、医療人材の不足などにより、年々厳しさを増している。

両医療センターは、これまでもそれぞれの強みを生かしながら地域医療に貢献してきたが、今後更に質の高い医療を安定的に提供していくためには、より体系的で持続可能な連携の枠組みが必要であり、両医療センターの資源を有効活用する体制づくりが不可欠であるとの認識を共有したことから、連携協定を結ぶことで合意した。

連携内容

①臨床分野における連携

○診療機能の相互補完 ○専門分野における連携・協力体制の強化 ○患者様中心の医療提供体制の構築

②教育分野における連携医師

○看護師・医療技術職等の人材育成 ○若手医療人材の教育・研修機会の拡充 ○指導体制及び教育資源の共有

③研究分野における連携

○臨床研究・共同研究の推進 ○研究成果を地域医療へ還元する仕組みづくり ○データ・知見の共有